

## シャーロット日本人会ボランティア活動のご紹介 第24号

2012年3月14日(水)

Charlotte Metro School 454にて

折り紙と着物の紹介

発行：シャーロット日本人会事務局

発行日：2012年3月16日

今回は、シャーロットのアップタウンにある障害児のための学校から依頼があり、ボランティアの皆さんとともに折り紙と着物を紹介してきました。当校の全校児童・生徒合わせて250人、3歳児から22歳までが一つ屋根の下、勉強しています。ほとんどが視覚障害をもち、その上、別の障害も併せ持つ重度障害の子供たちが多く、現在の場所に移転してからは5年ですが、その前に20年の歴史を持つ学校です。中学部担当のTrina Luke先生から連絡をもらい、10歳から13歳の50人を対象に日本文化のほんの一部を紹介してきました。最初のグループ25人は全員車椅子の重度障害児、まずは着物の着付けを実演、手足の自由があまり利かずとも皆目で私たちの行動を追い、事前に考えた質問を機械音声の録音したもので質疑応答が活発に繰り返されました。先生とボランティアの皆さんで紙コップを折り紙で作り、お土産に鶴と日本語の書かれたしおりを全員にあげました。皆、大喜びでした。次のグループ25人は全員自閉症、こちらも最初に着物着付けの実演、その後一緒に紙コップを作り、お土産に鶴としおりもあげました。このグループは紙に書いてある質問を読み上げる方式で質疑応答、皆、一生懸命先生のサポートを受けながら自分で大きな声で質問を読みました。「着物は毎日着るのですか?」「着物は自分で作るのですか、買うのですか?」「男の人も着物を着るのですか?」「いろんな色やデザインがあるのですか?」などなど。



Trina Luke先生



沢山の折り紙



着物バッグもあります



ボランティアの皆様

森 修妃(なおこ)さん、写真撮影もしていただきました。

渡部美弥子さん、着付けも手伝っていただきました。

Davis 資子(よりこ)さん、しおりを沢山提供してくださいました。

Thank you very much!